

# 1. 保育の計画（R5年度）

## 評価・反省

- ・保育前後にフリーの先生と毎日話をしているので、クラスの連携は十分に取れている。
- ・つい手いっぱいになってしまっていて、目の前のことをこなす事でいっぱいになってしまっていた。一年の見通しを持って、保育を行う事が出来なかった。
- ・子どもの姿を理解した上で指導計画、環境構成を考えその時期に合ったものを取り入れる様常に心掛けました。
- ・教育要領を活用しながら子ども達に合った保育を計画することが、不十分であったと思う。もっと教育要領を活用して次学年や小学校に向けての子どもの姿を見通した計画を立てる様にしたい。
- ・見通しを持って日々の保育を計画することが出来、学年や全体でも共有・話し合いをすることが出来た。
- ・子ども達の現段階のレベルと、次学年の活動を見据えて成長を促せるように日々の保育で心掛けている。
- ・子どもがやりたい・やってみたいと思うような活動の提供・環境作りが不十分であったと思う。
- ・学年の先生と話し合い協力し、子どもの姿を見つめて保育することが出来た。

### （お助けマン）

- ・園の教育方針を常に確認することがなかったと、反省しています。
- ・お助けマンとして、主任の先生へ客観的な目線から感じたことを伝え相談し、保育へ取り入れる事が出来た。
- ・担任の先生と翌日や来週の活動についてどう進めていくか話し合い、連携が出来たと思います。担任が初任の為、先生自身も見通しを持って準備等出来る様声掛け、フォローが出来たと思います。
- ・志都呂幼稚園の保育の基本はよく理解しているつもりですが、子ども達の「やりたい！」をすぐに対応して上がられていない事もある。
- ・その時の子ども達一人ひとりの姿に合わせた活動ができた。子ども達が、自分のイメージを形に出来るよう様々な素材を準備する方がよかった。
- ・カリキュラムや指導計画には直接関らないが、計画書には十分目を通し保育のねらいが達成できるよう補助に当たった。
- ・年間学期の指導計画は見直しを行い変化に対応し、作成することが出来た。日々の保育に精一杯で、指導計画に基づいてのうめ組担当4人での話し合いはなかなか出来なかった。玩具がマンネリ化の為検討を要望したが、間に合わなかった。常に子ども達が生活しやすいよう、保育室の環境構成に努め、生活しにくい箇所はすぐに話し合い修正した。
- ・園の教育理念・方針を今一度全職員で理解し、方向性を合わせる場が必要だと感じた。環境構成もその時の子どもの成長・発達に適したものを考えられるようにする必要がある。
- ・フリーとして計画の段階から携わっている訳ではないので、その日入った所で一日の流れを知る事になる為、バタバタ終わってしまう事が多かった。
- ・子どものペースを尊重して自らが遊べる環境作りに配慮した。常に安全な環境作りを目指した。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・教育要領をもう一度読み、保育に取り入れるようにする。
- ・一人ひとりの発達・時期・学年に合った保育が、常に出来る様に日々考えていきたいと思っています。

- ・教育要領を読んで、5領域や10の姿を意識しながら計画を立てる様にする。
- ・その日の子どもの姿を見て、遊び込める環境構成をする。  
幼児の発達について理解し、その年齢に合った関わりを心掛ける。
- ・子どもの発達・関心に合わせて環境構成を工夫していく。
- ・子どもがワクワクするような活動や教材を多く取り入れ、主体的に出来るような環境構成をしたい。
- ・現在の学年の活動だけでなく次学年・小学校進学に向けて、次の見通しを持って保育していく。
- ・教育要領をもっと活用し、日々の保育で意識して取り入れていきたい。
- ・環境設定として、廃材といっても様々な素材・形の物を用意し子どもの創作意欲に繋げていきたい。

## (お助けマン)

- ・自己評価するたびに振り返ることが出来るので、その都度確認していきたいです。
- ・指導計画や保育計画をたてる段階で、お助けマンの立場から気づいたことを伝える事が出来ると思う。
- ・一日・一週間の反省の共有がもっと出来たらと思ったので、上記の計画と共に振り返りも大切にしながら今の子ども達の姿に合うステップアップした活動を取り入れていきたいと思います。
- ・行事や園外保育・外部講師によるレッスンに追われて、お店屋さんごっこや劇遊びが盛り上げきれなかったのが、個人的に反省。来年こそは、子ども発信の遊びを持続させてあげたい。
- ・引き続き指導計画が園の教育理念や方針に沿うよう、実践していく。
- ・職員の勤務時間が様々でなかなか話し合いの場が持てないが、せめて月1回は時間を決めて指導計画に基づいた環境をはじめとする話し合いをしたいと感じた。
- ・教育理念・方針を年度初めに話し合うこと。
- ・月案や週案を事前に見せてもらえると、あらかじめ活動内容を知る事が出来円滑なサポートが出来ると思っていた。
- ・好きな遊びに気持ちが向いていくようにしたいです。一緒に遊ぶことで、遊びを広げていきたいです。

## 2. 保育の有り方・子どもへの対応 (R5)

### 評価・反省

- ・異年齢の交流が少なかった為、残りの数か月でも取り入れたい。
- ・クラスの子どもへの理解は日々深められるよう心掛けたが、他のクラスの子どもとの関わりは多くはなかった。  
いっどこで何が有るか分からない事、保育者として守る事の重大さを実感した。
- ・登降園時の視診が不十分で、怪我に気づかず帰してしまう事があった。スタンプを押すことが流れ作業にならないようしっかりと目で見て怪我や体調の変化がないかを把握する。
- ・日々の保育をこなす事に精一杯になってしまい、なかなか子どもを深く理解して保育を行うことが出来なかった。
- ・子どもの思いを聞いたり、考えてから援助することが出来た。
- ・子ども一人ひとりに同じ分だけ目を向けて、関わる事が不十分であったと思う。
- ・子どもの言葉遣いをよく聞いたり会話のコミュニケーションとして、言葉選びを意識して話すようにしている。
- ・子ども一人ひとりの課題や発達に合わせて、個々の対応を取ることが出来たと思う。
- ・朝の会では視診を徹底し、子どもの安全に努めている。
- ・3クラスが横並びになっているため、遊びもクラスを超えて遊ぶことが出来た。  
縦の交流が、少し少なかった様に思う。

### (お助けマン)

- ・健康安全には十分留意し、気づいたことが有ったらすぐ報告する様心掛けています。
- ・職員がクラス、学年ごとに子ども達と関わり言葉がけをすることが出来ており、自身も出来た。
- ・入っているクラスの同学年の個々の理解は、実際に関わったり職員同士で情報を共有することが出来たが、他学年の子の個々の理解が不十分だったと思います。
- ・年度の途中で入るクラスが変わり、その都度その学年の特徴や成長過程を見ることが出来た。
- ・今年度はコロナ・インフルエンザと感染症の拡大があった為、常に視診を大切にし細かな体調の変化に気を配った。乾燥すると余計に体調をこわしやすいので、加湿器を常に運転したことで欠席者減少傾向にあったと思う。
- ・子どもの安全と理解は保育者にとって一番大切なことで有る為、常に重きを置き行動として移せるよう意識した。
- ・お助けマンとして色々なクラスに入る為、それぞれの子ども同士の関係性などを把握しきれていない。
- ・子どもの個性に合わせた声掛けを、することが出来た。

### 反省を基に来年度、改善・実行すること

- ・子ども達の思いに共感することは心掛けているが、今こうしないといけないということに強制的になってしまいがちなので、子どもの意思を尊重していきたい。
- ・他クラスへの子どもとも戸外遊びや集会、学年での集まりの際関わり、一人ひとりの理解を深めていきたい。

常に起こりえる事を予測し、視野を広く持ち見守っていききたい。

- ・ 個人記録用紙に登園時・降園時の怪我や様子を控え、状況を把握する。
- ・ 子どもの姿を一番に考え、自分自身も心にゆとりを持って関わる事が出来るようにする。
- ・ カリキュラムや計画に合わせて保育することも大切だが、時に子どもの発想や関心を広げる活動を行うなど柔軟な保育をする。
- ・ 毎日一人目を向ける子を決め、好きな遊びや友達との関わり方など深く着目していききたい。
- ・ 個々の理解を深めること、引き続き職員での情報共有を密にしていく。
- ・ 新しいあそび（戸外・室内どちらも）を取り入れ、より遊びに夢中になれる様にしたい。
- ・ 子ども達一人ひとりを見て、必要な援助・声掛け・支援をしていきたい。又、発達を知り、子ども達一人ひとりの課題や個人の目標に、適切な環境設定を行う。

### （お助けマン）

- ・ 今まで以上に様々な環境に留意し、定期的に点検チェックをしていきたい。
- ・ 子ども達一人ひとりのありのままを認める姿が子どもの鏡となれるようにしたい。
- ・ いろいろなクラスに入る事が有ると思うので、入った際印象的だった事や個々の関わりを通して気づいたことを簡単でもいいのでメモし担任へ様子を報告と共に情報を共有していけたらと思います。
- ・ どのクラスに入っても、一人ひとりに寄り添い安心してもらえるように関わっていく。
- ・ 園庭そして砂場に大きな石が目立ち、安全といえない箇所があった。  
朝の自由遊びの時間に週一回でも環境整備の時間を作り、子ども達と一緒に石を拾ったり木の長い枝を拾ったりしたらどうか。「幼稚園をキレイにしよう！」「パトロール」など呼びかける。
- ・ 他の学年の事を理解し自分の事として捉え、園の様々な事柄をきちんと把握し、漏れなく連携を全職員が取れるようにする。
- ・ 各クラス担当とのコミュニケーションを積極的にとり、子どもの姿・クラスのねらいなどを密に共有したい。
- ・ フリーで動く為、応援に入ったクラスの生活の流れを聞き連携して保育出来る様にしたい。

# 3. 保育者としての能力・良識・適正

(R5年度)

## 評価・反省

- ・初めて後輩指導を行う立場になり、十分に伝えられていないのではないかと不安に思うこともあったが、尋ねてくれたりしたことで学年間で足並みを揃えて行う事が出来たと思う。
- ・製作や便りの作成がギリギリになってしまったので、余裕を持って作るようにしたい。担当の仕事でも、他の先生が進めて下さることが多かったので、自分から聞いて進める様になりたい。
- ・体調管理を徹底し、元気よく明るく勤める事が出来た。周りの方々に頼ってしまいがちな場面があった。
- ・子ども達の鏡となる様、言動・身の回りの整理などを心掛けた。間違った上下関係を作らず、後輩も伸び伸びと働けるようにしたい。
- ・保育者としての意識や立場を考えながら行動することが出来た。
- ・保育者としてのマナー・モラルを守り、日々意識できた。
- ・保育者として自分なりに常に意識しての生活を、心掛けた。月末の提出物が、遅れてしまう事があった。
- ・保護者様との関わりに、差が出来てしまった事が反省である。
- ・体調を崩すことが多く、検査・通院が多かった。普段の生活では、食事や睡眠・手洗い・うがいを大切に徹底したい。
- ・送迎や預かりの子の保護者様と、お話しできる機会が多かった。
- ・事務職の立場より、幼稚園の一員として常に心掛けている。

## (お助けマン)

- ・保育者としての誇り・自覚を持って日々生活するように努力しています。
- ・与えられた仕事だけでなく、気づいたことは積極的に行うよう心掛けているので、継続して期待です。
- ・保育者としての自覚を持ち、行動することが出来た。
- ・トイレ・水回りのこまめな清掃を心掛けた。
- ・誰に対しても笑顔で挨拶することが出来た。
- ・一人の大人として保育者としてプライベートでは母親としてそれぞれの立場はあるが、人として大切なことは意識して行動している。
- ・常に保育者として自覚を持ち、行動や言動に気を配っていたと思う。
- ・常に明るく元気で清潔感がある様、心掛けています。

## (バス乗務員)

- ・子どもとの対応は、公平を欠かさないよう心掛けた。
- ・健康には気を付けていましたが、体調不良の時もあり大変な思いをしたので、より一層気を付けたいです。

- ・感謝の気持ちを忘れず、公平な対応に心掛ける。
- ・健康に過ごす、挨拶は元気に、伝達は必ずメモを取るなど、基本的な事を忘れないように心掛けた。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・保育の事で悩んでいる先生がいないかなど、もっと周りに目を向け助け合えるよう職員間でのコミュニケーションもより大切にしていきたいと思う。
- ・製作の便りは、一か月以上前から考えておき一週間前には準備を整えておく。  
カリキュラムを見ながら担当の仕事を把握し、いつまでに何をするのか計画を立てて取り組む。
- ・係りの仕事は更に責任を持ち、自ら進んで行動する事が出来るようにしていく。  
引き続き、体調管理を徹底する。
- ・期限を過ぎてしまう事が有ったので、自分の中で優先順位を考え仕事する様心掛ける。
- ・自分の意志や考えも発信して、より良い保育をしていきたい。
- ・引き続き保育者間での情報共有・連携を密にしていきたい。
- ・提出物等、どんな事も余裕を持って取り組む。  
担当の仕事もしっかりとした分担を決め、計画的に行う。
- ・様々な保護者様と話をし、来年度もどの学年を受け待ってもいいように信頼関係を築いていきたい。  
園長先生に事後報告になってしまった事が有ったので、すぐに伝える様にする。
- ・クラスの整理整頓・提出物の期限を守る。  
園全体をチームとし一人ひとりの大切な子ども達全員を、どの子も温かく見守り必要な援助をしていきたい。
- ・普段なかなか会う事のない保護者様に、今より電話や連絡帳を用いて日々の様子を伝えコミュニケーションをとっていく。
- ・今まで通り誠実に・公平に目の前にある仕事に邁進します。

## (お助けマン)

- ・これからも初心を忘れることなく、年長者としての自覚を持って取り組み、職員全体のコミュニケーションをとっていきたいです。
- ・自分の仕事に責任感を持ち、「保育者としてあるべき姿」をきちんと自覚していく。
- ・当たり前に行う仕事に加え、自分の中で「一日一善」を意識して小さなことでも園の為になる事をしたいと思います。
- ・引き続き、清潔な環境作りを実践する。
- ・クラス内の整理整頓心掛け、整理整頓しやすい環境作りに努めた。  
うめ組は保育室・図書室・預かり保育と用途が多く、それだけ物も多く人の出入りも多い為整理整頓が難しい。職員一人ひとりそして子ども達も、片付け場所など周知しないといけないので常に発信していきたい。
- ・後輩指導をしていく立場でもある為、より行動や言動に注意していきたい。
- ・提出物や与えられた仕事を忘れがちなので、メモをとったりスケジュール管理を徹底して計画的に効率よく仕事をこなしていきたい。

- ・毎日保育者全員と会話できるようにしたいです。健康管理に十分気を付けていきたいです。

(バス常務員)

- ・明るい笑顔で、人より先に挨拶を心掛けたい。
- ・具合がよくない時は、早めに対処しようと思います。  
規則正しい生活・無理をしない・ストレスをためないなど、基本的な生活をしたいと思いま  
す。
- ・健康管理に注意し、業務に支障の無いようにする。
- ・子ども達・保護者の方々・先生方に信頼される行動をする。  
心も体も健康で一年を送る。

## 4. 保護者への対応 (R5年度)

### 評価・反省

- ・今年度からInstagram・ブログを活用したことで、日々の子どもの様子を保護者様に見ていただき安心する一つの材料になったのではないかと感じた。
- ・保護者様への伝達は欠かさず行う事が、出来たと思う。  
伝える際の口調や話し方に未熟さを感じる事があった為、他の先生方を見て学びたいと思う。
- ・特記事項は欠かさず伝えることが出来たが、バス通園の保護者様はなかなか日々話すことが出来なかった。
- ・子どもの園での様子を積極的に伝え、園での姿が分かるように心掛けた。  
ブログやInstagramも活用できた。
- ・保護者様にお会いしたら丁寧な挨拶と対応を心掛け、園全体でも情報共有をすることが出来た。
- ・保護者様との信頼関係を築いていく為に、子どもの様子や成長を伝える機会を増やすことを心掛けた。
- ・小さなことでも園長先生に話をしながら対応することが出来た。
- ・保護者様と毎日お会いすることが出来るので、園の様子を直接伝えることが出来た。
- ・常に保護者様の意見を聞き、謙虚で素直に受け止める園長先生と職員とで共通理解し連携を図って対応した。
- ・保護者様からの意見等は、すぐに共有することが出来た。  
積極的にコミュニケーションをとることが出来た。
- ・保護者様には分かりやすく不安なく、園を利用出来るよう心掛けている。

### (お助けマン)

- ・保育補助として担任を補佐し、自分が対応した保護者様に関してはすぐ報告・連絡・相談をしています。
- ・保護者様にお会いした時は、子どもの様子をお話しすることが出来た。
- ・お迎えや行事の際、保護者様に様子を伝える様に心掛けました。
- ・園行事や送迎の際、なるべく声を掛け保護者様の顔を覚え信頼関係を築いていく。
- ・うめ組は毎日保護者様と顔を合わせる所以、その日の様子や成長したことなど細かな事でもお迎えに来た際に伝えられる様配慮し信頼関係作りに努めた。  
今後も個人情報には細心の注意を払いながら、安心して預けて頂けるよう子ども達の様子を発信出来たらと思う。
- ・フリーの立場として伝えられること伝えたいと思うことは、伝える様心掛けた。

### (学年問わず)

- ・お迎えの時など出来る限りその日関わった保護者様に話をする様、心掛けた。
- ・保護者様のクレームが多かった。職員同士しっかり話し合うべきであった。

反省を基に来年度実行・改善すること



- ・送迎に比べバス利用の保護者様との会話がどうしても少なくなってしまう為、電話や連絡帳を活用し、子どもの様子を伝え安心してもらえるようにした。
- ・その日その子の良かったエピソードも一緒に話す等、保護者様に快い話し方を心掛ける。
- ・保護者様との信頼関係を更に築く事が出来るよう、こまめな情報伝達を意識する。
- ・クラス便りやブログ・インスタグラムで、子どもの姿や保育者の想いを伝え、園の様子をオープンに伝えていく。
- ・依頼や伝言などと細かく丁寧にメモをとる。
- ・新たな保護者様との信頼関係を作り、園とご家庭との連携が出来る様にしたい。
- ・ブログ等、園での様子をより保護者様に伝える努力をしていきたいと思う。
- ・伝達ノート（職員間での情報共有ノート）に記載する事を忘れてしまう事が有る為、何かあった際には、詳しく記載し情報伝達を徹底する。
- ・引き続き保護者様からの信頼を得られるように、努力していく。
- ・クラスでの様子をブログやインスタグラムで積極的に発信した。
- ・来年度はバス通園の保護者様とのコミュニケーションを今よりも密にしていきたい。
- ・新制度に向けて質問等、保護者様が知りうるべきことを、分かりやすく伝える方法を準備する。

### （お助けマン）

- ・担任・他のクラス・園長先生とそれぞれの繋がりを密にし、チームワークで保護者様対応をしていきたいと思ひます。
- ・園での印象的だった事成長したこと等、忘れずに伝えられるようメモしたいと思ひます。

## 5. 地域の自然や社会との関わり

(R5年度)

### 評価・反省

- ・問い合わせ等、正しく答える自信がなく事務や園長先生に、頼ってしまう事があった。
- ・園のシステムなど見学者の方に説明できるほど、理解出来ていないこともある為、対応の仕方や園の理解に努めていきたい。
- ・電話対応等で、困ってしまう事があった。  
すくすく教室では、緊張であまり自己を発揮することが出来なかった。
- ・来園者には、自ら明るい挨拶をすることが出来た。外の道を通っている方や小学生にも挨拶を交わした。
- ・質問をされたときに的確に受け答えが出来ていなかったため、自信を持って対応出来る様にしたい。
- ・すくすく教室では、未就園児も楽しめる様な雰囲気作りを意識することが出来た。
- ・すくすく教室や地域の方々とも挨拶をし、コミュニケーションをとることが出来た。
- ・すくすく教室にうめ組として参加し、すくすく教室に参加されている保護者様にも子ども達の様子を見ていただいている。
- ・民生委員の方や職業体験、業者の方、勿論保護者様にも丁寧に対応することが出来た。
- ・見学の方に園の概要を、伝えることが出来た。  
すくすく教室も、都度異なる教材を使う事が出来た。
- ・地域の方々には自分たちの幼稚園という意識が強い為、常に不快な思いを与えぬよう明るく対応することを心掛けた。

### (お助けマン)

- ・明るく笑顔で接し地域社会と関わっていけるよう、努めています。
- ・来園した方へ明るく挨拶や会話をする様、心掛けることが出来た。
- ・他学年の出掛け先や行事は把握していたものの、服装や持ち物・時間など細かい所に答えられない事がありました。
- ・見学者や問い合わせの電話にも的確な対応が出来るよう、必要な情報はメモして携帯するようになった。
- ・見学者や地域の方すくすく教室で来園された方など、丁寧な挨拶を心掛け明るい雰囲気作りに努めた。
- ・園の中核としての立場で保育の事だけでなく園に関係する全ての事柄に、きちんと対応出来るよう心掛けた。
- ・4月からの入社で自信がない事が多く、園についての問い合わせにはあまり積極的では

なかった。

- ・園外保育で、地域の良さをたくさん知りたいです。

## 反省を基に来年度実行・改善する事

- ・自信がないものなどはメモをとるなど忘れないようにし、自分でしっかり答えられるようにしたい。
- ・理解が不十分な所を確認しておき、見学の方に説明する内容等をまとめておく。
- ・改めて園の事について（方針等）を見返し、来年度は今年度よりも対応することが出来る機会を持つ。
- ・保育の予定だけでなく未就園児対象の予定も把握し、伝えられるようにする。
- ・分からない事はそのままにせず、すぐに聞き、次からは答えられるようにする。
- ・見学の方により声を掛けて、園の雰囲気を知ってもらえるようにしたい。
- ・すすすす教室では新しい歌やダンス童謡などにも、チャレンジしていきたい。
- ・園生活にかかる納入金など入園の仕組みでは分からないことが有る為、入園のしおり等を見直しておく。
- ・すすすす教室で来園者の方々に、笑いを響かせる！
- ・見学の方にどの様な質問に対しても答えることが出来るよう、園のしおりを読み返す。
- ・昨今災害がいよいよ身近になり、そのようなことが起きた時必ず地域の方は幼稚園を災害拠点という考えをもって訪れます。その時に何かしら対応できるシステムを作っておくべきではないか。

## （お助けマン）

- ・地域社会に貢献できるようこれからも明るく接し、評判の良い幼稚園にしていけるよう尽力していきたいです。
- ・園外の方にも好印象を与えられる様、努めたい。
- ・その日にある行事等、細かな内容を朝しっかり確認していきたいと思います。
- ・相手の要件を的確に聞き、担当者に確実に引き継ぐ。
- ・急な問い合わせや質問にもすぐに対応出来るスキルを、身につけたい。
- ・事務的な事にも対応出来るよう、知っておくべきことは把握しておく。
- ・一年の経験で答えられることは増えたと思うが、必ず確認を怠らず自分だけの考えで伝えられないよう気を付けたい。

## 6. 研修と研究(R5年度)

### 評価・反省

- ・発達について等の研修で学んだ事は、子どもとの関わりの中で意識できるよう心掛けたが実践的な研修で学んだ事を積極的に取り入れることが少なかった。
- ・園のパネルシアターは活用したけれど、エプロンシアター等使いこなせなかった物もあるため、使い方を研究したいと思う。
- ・園に有る保育教材は、まだ知らないものもあり十分に保育の中で活用することが出来なかった。研修で学んだことを少しずつではあったが、活かすことが出来た。
- ・ネットに頼ることが多かった。  
研修ではグループワークが出来る様になり（コロナが明けて）、様々な意見を聞き自らの保育も見直すことが出来た。
- ・研修に参加し、学びを深めることが出来た。
- ・絵本以外の教材を使う機会が、少なかった様に感じた。
- ・あまり研修に参加出来なかった。他の先生の研修報告を取り入れて、より実践したい。
- ・夏休みなど研修に行かせて頂いている為、保育を見直すことが出来ている。
- ・今年度は夏の研修に参加出来ず残念だった。新しい情報や保育設定を得る事がいかに大切か分かった。
- ・研修に自ら参加する事は出来ていない。  
受けた研修内容を自分の保育に取り入れる事が出来た。
  - ・事務職として県の幼稚園協会の資料、市の事も家庭部が出している資料、新制度に向けての勉強は常にしている。

### (お助けマン)

- ・常に新しい情報を取り入れ、研修で学んだことなど日々の保育に役立てる様務めています。
- ・特に園の玩具を子ども達一人ひとりに合った活用方法で、使用することが出来た。
- ・今年あった水島先生の研修では、自分自身も「楽しい」と心を動かされたと同時にすぐ実践できる内容で、保育者としての引き出しが増えたと思います。
- ・夏の研修では実技からマネジメントまで、さまざまな分野について学ぶことが出来た。  
園内研修ではアレルギーや危機管理等、園の実情に則した内容の研修を深める事が出来た。
- ・夏の浜私幼研修では、自身の保育を見つめなおすきっかけとなった。  
園内研修のAED・アレルギー研修は、繰り返し学ぶことで身につけている。
- ・参加出来る研修には参加する様心掛けた。  
研修で学んだ事をそのままにせず、現場に落とし込んで実践して新たな学びに現場で活かす事を意識した。
- ・夏の研修はたくさん参加させて頂けて自分のスキルアップが出来たと思うが、実践に活かせたかという満足いくものではなかった。
- ・園内研修には積極的に参加している。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・ 戸外遊びから室内に戻る前・給食後・降園前などの空き時間に、研修で学んだ事を取り入れていきたいと思う。
- ・ エプロンシアターを子ども達の前で披露する。一週間に一回以上、シアターを披露する。
- ・ 長期休み等時間が空いた時に園の保育教材の研究をし、来年度の保育で活かすことが出来る様にする。自らの保育に取り入れていく。
- ・ 専門的なもの（本や雑誌）で学び、自らの保育に取り入れていく。
- ・ 研修だけでなく保育に関する専門書なども読み、取り入れながら保育に活かしていきたい。
- ・ 教材の中でまだ使っていないものが無いか、改めて教材を見返し活用していきたい。
- ・ 園に有る教材や素材についても学んで、取り入れていきたい。
- ・ 園に有る教材でまだ扱い方を知らない物が有る為、見直し取り入れていきたい。
- ・ 自分の受けた研修を幼稚園ナビその他で探し、どんどん自己研鑽したい。
- ・ 今年は自身のクラス公開保育がなかった為、実施し保育が見直し出来ると良い。
- ・ 業務が多く協会や市からの資料を時間外若しくは休みの日の見ざるえない部分が多い。業務中に見る時間が有ればいいのですが、、、  
今一度事務業務を理解出来、事務業務に専念出来る模索していただきたい。

## （お助けマン）

- ・ 保育も進化していることを肝に銘じ、問題意識を持って様々な出来事に対処していきたいと思えます。
- ・ 子ども達の発達に合った適切な保育環境を整えるために、積極的に自己研鑽に努めたい。
- ・ 学んだことを保育の中に取り入れていきたいと思えます。
- ・ アレルギー対応など繰り返し研修する事で身に付けていく。  
研修で学んだ事を、自分の保育に取り入れていく。
- ・ 自分から勉強し向上する気持ちを忘れず、学んだことは日々その保育で活かせるよう努力していきたい。
- ・ より多くの研修に参加できるようにする。様々な教材・専門書を活用していく。
- ・ 担任ではないからやらないのではなく、担任の先生に提案して保育に取り入れてもらい研修を活かしていきたい。
- ・ 玩具の研修に参加出来る様にしたいです。

## 安全な運転・業務について

### 評価・反省

- ・ 一年、事故もなく安全に運行出来ました。
- ・ 常にバスの中全体に、目が届いてないことがありました。注意（声を掛け）しておかないといけな  
い子に気を取られていた時がありました。
- ・ 周囲の安全認識と、車内の動きにも注意する。
- ・ 大切なお子様の命を預かっているという意識を高く持つ事を、心掛けた一年でした。

### 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・ 今後も安全運転を心掛け、運行したい。

- ・今まで以上に子ども達の持ち物・傷等が無いか常に確認して、忘れ物・伝達忘れが無い様に気を付けたいです。

乗車中に後方まで行く回数を、多くしたいと思います。

- ・防衛運転と、予測走行の実施。

- ・車内だけでなく乗降時の安全にも気を配っていきたい。

通園が楽しいものになるよう、車内での言葉掛けを積極的にしていこうと考えている。

# R5年度 学校評価委員会感想及び議事録

## ◎保育をご覧になって

### ☆こども

- ・明るく元気よく楽しそうに自分らしく過ごせているなど感じた。
- ・一人ひとりの子どもをしっかりと尊重していると印象を受けました。
- ・どの子ども笑顔で楽しく活動していた。
- ・沢山話しかけてくれて、誰とでも仲良くでき、園生活が楽しめているのが伝わってきました。
- ・どの子ども笑顔が見られ、園生活を楽しく送っていると感じました。

### ☆保育者の様子

#### ○挨拶・笑顔・子どもたちに対する接し方

- ・いつも明るく朗らかに挨拶いただき、元気を頂いています。
- ・こちらに気づくと元気に笑顔で挨拶して頂けるので、こちらも自然に笑顔になれます。
- ・笑顔で挨拶をしてくれます。子ども達の見線で、優しい口調でお話してくださっています。
- ・丁寧な話し方をしているなど感じました。
- ・何をしても明るい笑顔で、そのおかげで園全体がとても良い雰囲気だと思います。
- ・同じ見線で話をして、共感しそれぞれの子どもを尊重している一人ひとりに寄り添う感じがとても素晴らしいと思います。
- ・マスクをしていても分かるほどの満面の笑みであると常に感じています。
- ・一人ひとりの子どもたちと丁寧に接していることが本当に素敵であると思います。
- ・子ども達の見線になり、しっかりと顔を見ながら接してくださっていると思います。

### ☆環境について

#### ○各教室の壁面

- ・イベントまであと何日、というような子ども達のやる気、頑張りを引き出す。
- ・装飾や子ども達のお手紙、絵などが素敵に掲示されていてよかったです。
- ・各担当の先生の個性が際立ち、どのクラスも見ていて面白かったです。
- ・各学級の個性（良さ）を感じました。
- ・いろいろな色彩でよかったです。

#### ○玄関、廊下など

- ・整理整頓がされていて、気持ちよく利用できると思います

- ・いつも綺麗になっていると感じます。  
外遊びが多い園にも関わらず、砂が目立ちません。
- ・毎日の生活の中で、自然と交通ルールが身につく様工夫されているのだと感じた。
- ・明るくて良かったです。さくら園舎の靴箱の上に、ちょっとした

## ☆その他感想

- ・いつ来園しても活気あふれる志都呂幼稚園。貴重な機会にお招きいただきまして、ありがとうございました。
- ・園長先生をはじめ、先生方の子ども達への愛情がとてもよく伝わりました。
- ・園長先生中心に職員が一丸となって、保護者や地域に信頼される園を目指してほしいと思います。
- ・守られた中でのびのびと園児が過ごしている様子が伝わりました。
- ・皆さんの何気ない言葉や行動が、子ども達に与える影響は、良いこともそうでないことも、思いのほか大きいと思います。